

不屈の情熱で謎を解け！1600年にわたる難解文字への
挑戦と格闘から、挑戦者たちの才能と研究の軌跡を辿る！！

読めない文字に 挑んだ人々 (仮)

ヒエログリフ解読 1600年史

古代エジプト文字（ヒエログリフ）解読にむけて積み重ねられてきた挑戦者たちの研究の価値を、その人ごとにとりあげて考えていく一冊です。「ヒエログリフとは？」から話しを起し、シャンポリオン（1790～1832年）による解読に至るまでを取り上げます。最終章では、現在の課題と今後の研究の行方についても紹介します。1600年にわたる挑戦者たちの解読に向けた文字との格闘をつうじて、その情熱と才能の軌跡を辿り、積み重ねられてきた研究の価値について考えます。

目次 (予定)

序章

ヒエログリフとは？
ギリシア人による研究（古代エジプトを伝えた諸々）

第1章 中世までの挑戦

挑戦者1 ホラポロ（5世紀）『ヒエログリュフィカ』
挑戦者2 イブンワフシーヤ（10世紀）
挑戦者3 アブー・アル＝カシム（10世紀）
挑戦者4 アタナシオス（14世紀）『解釈の科学における構成の首飾り』

第2章 近世・近代における挑戦

挑戦者5 キルヒヤー（17世紀）『リングア・アエギプティアカ・レステイトウタ』
挑戦者6 ウォーバートン（18世紀）
挑戦者7 ゾエガ（18世紀）
挑戦者8 ナポレオンの随行者たち（18世紀）

第3章 ロゼッタストーンとの格闘

挑戦者9 ド・サン（19世紀）
挑戦者10 オーケルブラド（19世紀）
挑戦者11 ヤング（19世紀）

第4章 シャンポリオンによる解読

ギリシア語をはじめ、中国語に至るまで幼少期から多くの言語を習得。
ド・サンよりコプト語を教わる
18歳で助教授になり、ヤングの研究に疑問を持つ
『ダンエ氏への書簡』
フィラエのオベリスクからのヒント
中国語の漢字から得た表意文字というアイデア

終章 シャンポリオン後のヒエログリフ研究

倒置法の理解
文法研究（動詞の活用問題）
教科書の作成
様々な仮説
現代も残された課題



宮川 創 = 著

エジプト学、コプト学博士。
※2024年4月より、筑波大学助教。
京都大学大学院文学研究科修士課程修了。
ゲッティンゲン大学にて博士号取得。現在、
国立国語研究所 研究系 助教。
東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化
研究所 共同研究員 / 東北大学 大学院国
際文化研究科 非常勤講師 /
大阪樟蔭女子大学 学芸学部 国際英語学科
非常勤講師

四六判 240頁(予定)

ISBN:978-4-634-15246-5 C0022

予価 2,200円 (本体 2,000円)

4
/
4
(木)

新刊受注
締め切

ご注文数

冊

番線印

(ご担当名:)

※新刊配本に間に合いますよう、お早めのご注文をお願いいたします。

